

「この変わらない恵みのうちに」(2025. 6. 15)

しかし、憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛してください、
その愛によって、罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、
——あなたがたの救われたのは恵みによるのです——
キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました。
(エフェソ2:4~6)

先日、上掲の御言葉を黙想していたら、凄いことに気づかされました。私達が洗礼を受けてキリストに結ばれるということは、キリストと共に死んで葬られ、共に復活し、永遠の命に生きる者にされることです。罪赦され、義とされ、神の子とされることです。凄い恵みです。ところがパウロはさらに言います。私たち皆がキリストと一緒に天の王座に着かせてもらった、と。私たち皆が天の王座に着いた？そんな畏れ多い事、望みません！ところがピカッとききました。天の王座に着いている神様の膝の上に私たちが座っているのです。そういう仕方天の王座に着いているのです。

小さい頃、祖父や父の膝の上に座って、大きな力に守られ安心したこと、皆さんも経験ありませんか。ああ、天の王座に着くというのは、神様の膝の上にちょこんと座るということだ！それこそ神の子にされるということなのだ、と開かれたのです。救いの新たなイメージです。私たち皆が大きな神の膝の上に座っている！目を閉じ想像すると、言いようのない平安と喜びが湧き上がってきます。イエス様が「わたしを通らなければだれも父のもとに行くことができない」と言われた「父のもと」とは、「神様の膝の上」ということです。



さらに何日かして気づかされました。神様の膝の上に座っている自分ですが、目を開けると、礼拝堂の中です。礼拝堂が神様の膝の上、と受け入れていい。そう思いました。考えると、布団のなかも神様の膝の上、牧師館も神様の膝の上、道を歩いていても神様の膝の上！結局、生きているすべての場所が「神様の膝の上」です。どこにいても神の子だということです。凄い恵みです。日々大きな愛の力に守られている。これが日本キリスト教団信仰告白「この変わらない恵みのうちに」の内容と悟りました。